

3 現存する植物群落および林内の低木や草本類の分布

シラカシの林から成る常緑の高木の林やクヌギ・コナラなどから成る落葉の高木の林が広く分布しています。

〔現存植生図〕



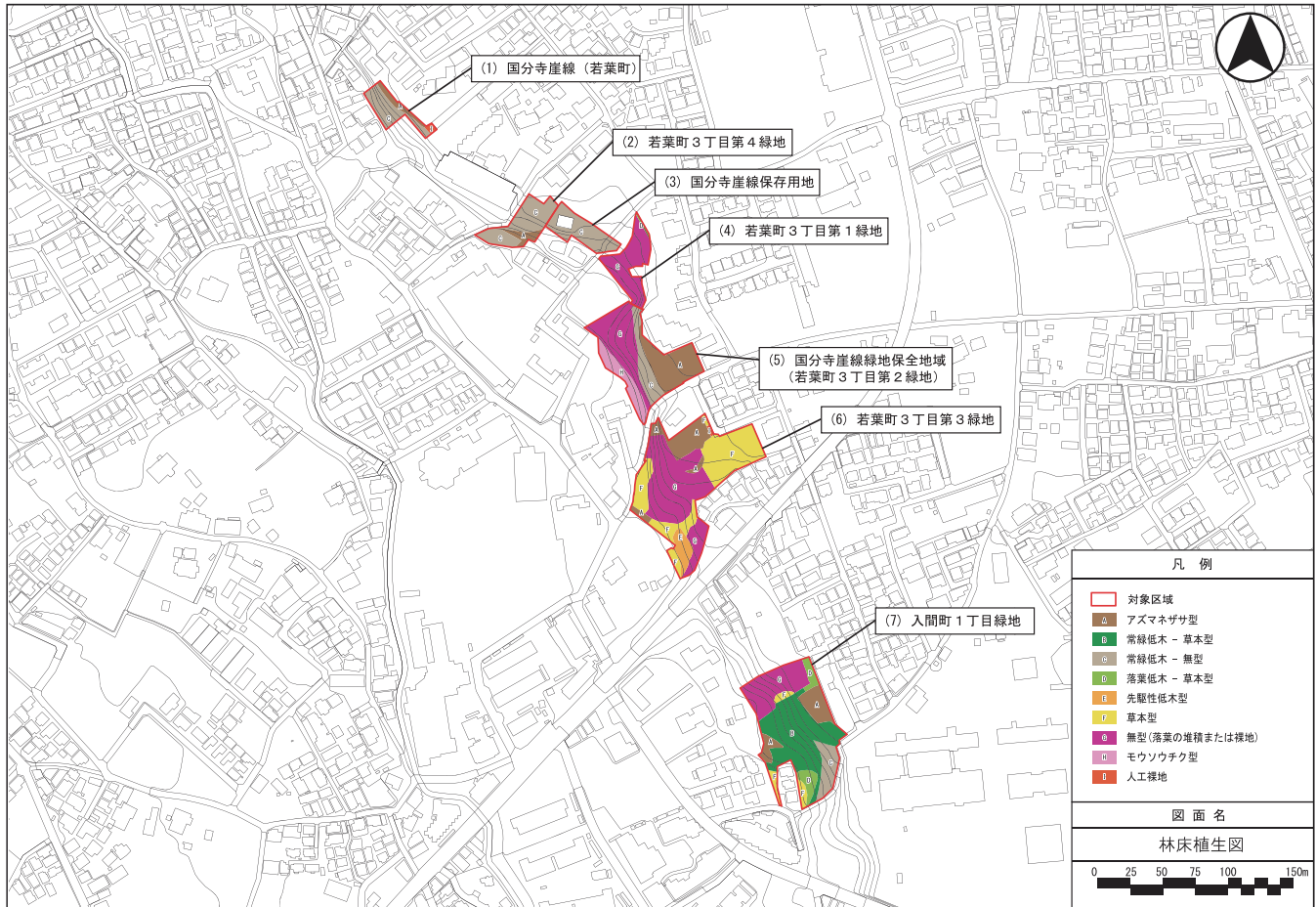
若葉町3丁目第2緑地内(通称 大坂側より撮影)



キンラン

林内にはアズマネザサや常緑の低木と草本類からなる植生が広く分布しています。

〔林床植生図〕



4 基本方針

保安全管理計画を策定するにあたり、現状の整理として、植生の現状、地形、土壌浸食、湧水等の状況、周辺の土地利用に加え、すでに保全活動がされている市民団体の皆さんとの意見交換の結果を踏まえ今後の基本方針について検討しています。

今後の基本方針としましては、安全面と人々の活動の場としての「利用の方針」と、かつての武蔵野の原風景ともいえる里山の雑木林としての維持管理へ向けた「保全の方針」の大きく2つに分け、検討しています。

このうち、「利用の方針」では、急な斜面地や窪地など危険性を考慮した閉鎖的管理や子どもの遊び場、自然観察会の場などの利用面の方針を検討しています。

また、「保全の方針」では、落葉樹主体の明るい雑木林、野鳥や貴重な植物がみられる多様性のある雑木林などのほか、周辺住民の住環境に配慮した保全面の方針を検討しています。